

| | |
|------------|--|
| 標 題 | 出雲市新規就農者・農業士交流会を初開催！ ～農業士が新規就農者に伝える「農業経営を継続する秘訣」とは？～ |
|------------|--|

(ダイジェスト)

去る12月4日、出雲合同庁舎にて、当事務所、出雲地方農業士会、出雲市農業再生協議会及び斐川町地域農業再生協議会との共催で、標題の交流会を初めて開催しました。
 農業士8名、認定新規就農者11名、研修生4名、関係機関の総勢32名が参加し、新規就農者からの事例報告と農業士からの講話、グループに分かれてのフリートークを行いました。

次代の農業を担う若い担い手の確保・育成のため、出雲市では、出雲市アグリビジネススクールの開催等を通じ新規就農者の掘り起こしに力を入れると共に、就農5年未満の認定新規就農者37名の営農確立と経営定着に向け、関係機関と連携し支援を行っているところです。

この度、新規就農者同士の仲間づくり及び農業士とのつながりによる課題解決と経営定着支援を目的に、標題の交流会を当事務所と出雲地方農業士会及び出雲市農業再生協議会・斐川町地域農業再生協議会との共催で初めて開催しました。

出雲市では、平成30年度までは新規就農者交流事業を毎年開催していましたがコロナ禍のため中止しており、この度、出雲地方農業士会とタイアップする形で、5年ぶりの開催となりました。

交流会では、初めに経営品目の異なる3名の認定新規就農者（多品目野菜、アスパラガス、ぶどう）が、就農に至った経緯から現在の営農状況、技術・経営確立に向けた課題や目標等を報告しました。

その後、出雲地方農業士会の農業士3名から、自身の経営概要や新規就農者に伝えたいアドバイスを話しました。農業士からの「新規就農者はうまく作ろうという意気込みを持ってもらえると思うが、『聞く耳』を持つことが大事。頑固な人はうまくいかない」、「成功するためには、自分の師匠となる人を見つけること」、「借金を半分返したところでハウスが倒壊したが手厚い支援のおかげで再建できた」等、自身の経験に基づく重みのある助言や経験談は、認定新規就農者の意識に深く刻まれ、今後の経営に活かされるものと思います。

次いで、3班に分かれたフリートークでは、「防除作業が大変すぎる。皆さん、どうやっているのか」、「作業日誌はどのアプリが良いか」、「農閑期に休むべきか、補完品目を入れるべきか」等、新規就農者からは率直な技術・経営上の悩みや疑問が打ち明けられ、それに対し、農業士が親身に受け答える他、参加者間での意見交換も大いに盛り上がりました。

本交流会を通じて得られた、農業士と新規就農者、また新規就農者どうしのつながりが今後も継続され、相談できる関係構築、ひいては新規就農者の経営定着に役立つことを願っています。

当農業部としては、今後も出雲地方農業士会及び関係機関と連携しながら、新規就農者の確保・育成に役立つよう、様々な取り組みを行っていきたいと考えます。



認定新規就農者 事例報告



出雲地方農業士会長 講話



トークタイム